

医学系研究科

教育プログラムの名称：先進的医科学専攻

授与する学位の名称：博士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院医学系研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（先進的医科学専攻・博士後期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「博士」の学位を授与します。

1. トランスレーショナルリサーチをはじめとした最先端のより高度な知識を習得し研究能力を身に付けている。
2. 研究者又は指導者として卓越した生命倫理観を有している。
3. 医科学の高度で専門的な知識を身につけた上で、自らの研究への想像力、応用力、実行力を有し、チームとして展開できる。
4. 高齢者社会の進展に伴う医療上の諸課題の解決を図る実践的な能力を獲得している。
5. 広い視野から研究の立案・遂行・統括することができ、リーダー的な立場で寄与することができる。
6. 高度で最先端の研究結果を学会や学術論文で発表することができる総合的な能力を獲得している。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院医学系研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、先進的医科学専攻（博士後期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように研究課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. トランスレーショナルリサーチを推進できる知識と技能を体得するための高度で専門的なカリキュラムを編成する。
2. 先進的で卓越した医学研究を担う人材として育成するために、様々な分野が連携して創意あふれる教育を展開する。
3. 国際的な競争力や多面的な研究開発戦略を主導的な立場で構想・推進できるようになるために、適切な助言・研究指導を行う。

4. 学生の出身分野に応じて、医学系の基礎的な学力の定着に加え、さらに深化した教育を行いつつ、それぞれのコースで先進的・指導的役割を担える人材として育成する。
5. 自らの研究に対し、能動的な課題発見・自律的な解決能力を培うため、双方向の講義や高度で適切な研究指導を行う。
6. それぞれのコースの目指す教育内容に照らし合わせて策定した成績評価基準に基づいて、到達度が明確になるような方法で評価を行う。
7. 医科学やトランスレーショナルリサーチに対する知識と技能、さらには主体的・自律的・実践的に学問に取り組む姿勢を評価する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

先進的医科学専攻では、放射線治療を担当する放射線腫瘍医や医学物理士など、幅広く放射線生物学、放射線防護学を専門とする者を育成する「放射線未来科学」、地域に根差したゲノムコホート研究=山形県コホート研究

（Yamagata Study）を基盤とした個別化医療実現のための教育、研究を行い、疫学・生物統計学、遺伝子医学、公衆衛生学や医療政策学などを専門とする「分子疫学」、創薬・医療機器開発をシステムティックに推進する人材育成・研究を専門とする者を育成する「創薬・システム医科学」の3つのコースがあります。これらの学問領域を学び、修得して社会に還元する意欲のある学生で、今後この分野の研究、人材育成にリーダーシップをとる意欲のある学生を受け入れます。

先進的医科学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・修得した自然・社会科学の知識と専門技術等に基づき、脳卒中に加えてがん、心筋梗塞、生活習慣病、認知症等、社会的に大きな問題となっている疾患の諸課題に関して、診断・治療の開発に関わるシーズ探索から実地臨床応用までの一連のプロセスを総合体系的に把握しつつ有効で具体的な解決策を自立的に探求し、新たな産業技術の創出及びその海外における展開を実践する能力を身につけたい人
- ・健康で豊かな社会の実現を目指してトランスレーショナルリサーチを推進する教育・研究を行う意欲のある人
- ・修得した遺伝学と統計学の専門知識を活用して生物統計学の専門家として研究、人材育成のリーダーとなる意欲のある人
- ・低侵襲の次世代がん治療である重粒子線療法について、その実践・指導・普及のリーダーとなる意欲のある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（筆記試験、口頭試問、出願書類を総合して判定）